

# せせらぎ通信

今年も！！

## 金目川下流の土手と河原の清掃 募集！

### 3月10日(日) 9時開始



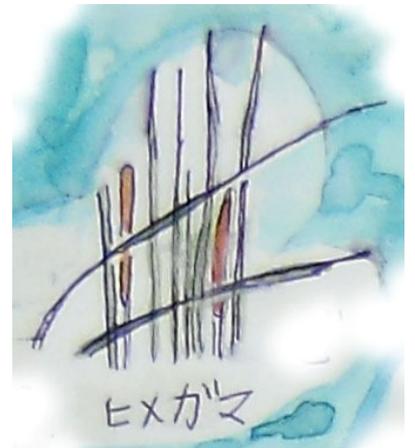
今年のごみ掃除のエリアを下流に広げました  
↓ (国道1号花水橋の先)



↑ 大山に雪の残る寒い朝ですが、みんなのやる気がみなぎっている

### 集合 大磯側の花水橋たもと 空き地 午前8時30分

- 作業場所 JR鉄橋下から高麗大橋の間「左岸・右岸」
- 持ち物 長靴・手袋・ごみバサミ ほか
- 参加者 金目川水系流域ネットワーク、丹沢山塊の自然を考える会、  
サムライなでしこ草刈り隊、横浜ゴム、ほか



●担当 (申込先) 府川清 ☎0463-34-7475

私は十五歳頃より山歩きに興味を覚え、丹沢周辺を中学の同級生と歩き始め、社会人となってからは東北、関東、中部、九州などの山々を巡り、折に触れ動植物を写真に撮り図鑑と見比べるなどして、楽しんでおりました。

昭和五十年代の初頭に、市街地を少し離れただけで楽しめる探鳥会(ハードウォッチング)を知り、最初に参加した探鳥会は花水公民館主催の行事です。ご担当の方は真鶴町より通われていた山田さんと記憶しています。ご指導は平塚博物館の浜口先生でした。

日本野鳥の会にも入会し、中西悟堂会長、高野伸一会長(蜘蛛の研究でも著名な方)の時代を過ぎて退会しました。

その後浜口先生のお話を何度かお聞きし、自然観察に大いに魅かれ昭和五十八年に浜口先生のお勧めもあり、自然保護協会の自然観察指導員の研修会を伊勢原市で受けることとなりました。その当時の私の住まいは横浜市緑区市が尾町です。研修会にて浜口先生などの講義を受けた方々の職業は学校の先生、行政職、家庭の主婦、公園などの設計者、大学院生、私のような民間企業の社員と様々でした。受講生の中から後々指導員として

## 秦野市 柳川 維

## 自然観察会を楽しまん



← 故浜口先生の自然観察会での熱心な指導

厚木市の自然保護センターで長くボランティアを努められ、表彰された主婦のKAさん、羊歯(シダ)の図鑑を出版された横浜の自然保護や啓発活動に熱心なKIさん等がおられます。横浜のKIさんとは当時住んでいた緑区において何度か自然観察会を行い、特に「寺家ふるさと村」周辺は思い出の多い場所です。浜口先生には数度「寺家ふるさと村」でご指導いただいたこともありました。

私は緑区市が尾町に十年余り住み、秦野に戻ったのは平成八年です。そして金目川水系の葛葉川を近くに見る秦野市「くすはの家」の自然観察指導員の研修を二度にわたり受けて、現在は指導員の組織である「えのきの会」に所属しています。

「金目川水系流域ネットワーク」の存在は「くすはの家」のスタッフEさんより伺っていました。そんな折に高校のクラス会で「金目川水系流域ネットワーク」に所属されている岩本さんにお会いし、金目川の自然保護や保全に、また子どもらに啓発活動をされているネットワーク代表の柳川三郎さん、また高校の先輩である小林さん、杉山さん、府川さんを紹介いただきました。また岩本さんのイラストをもとに馬入川の「水辺の楽校」の浜口先生の名を冠した観察路を歩き、若くしてお亡くなりになった浜口先生を偲ぶこともできました。

十月には「くすはの家」において「金目川水系流域ネットワーク」の皆さんと水生生物の観察会を共催し、一般参加者も少ない中、楽しく親睦を深められました。観察会の終盤には府川先輩の詩の朗読もあり、昔の金目川の様子や自然の大切さを学ぶことができました。これからも自然観察を楽しみたいと思います。今後とも皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。府川先輩の足元には及びませんが、私の拙い短歌を次に紹介させていただきます。

次の短歌は神奈川歌壇(神奈川新聞社)などに掲載された私の歌より「水辺に関する歌」をとりあげました。

足裏に伏流走る音を聞き水のみなもと  
目指して歩く (神奈川歌壇)平成十一年五月十五日

溪谷に下る階段くれないの沢蟹さけて  
我は歩きぬ (神奈川歌壇)平成十一年十一月二十日

湧水は撰氏十二度手のひらに土の温もり  
伝わりてくる (神奈川歌壇)平成十五年五月十三日

カワトンボ、イトトンボ追ふ子どもらは瀬に阻まれて  
引き返し来ぬ (神奈川歌壇)平成十六年六月二十日

いっせいに蝌蚪は蛙にならむとす秦野盆地に  
住むのとけさや (日本経済新聞)平成十六年六月二七日

「トンボの池」「くすのき広場」子どもらは自由気ままに  
緑地を回る (神奈川歌壇)平成二十三年一月二三日

# 金目川(支流・室川)の水源と

## 千村(日立ITエコ実験村)へ

### フィールドでの

### 観察と

### 木工場内での

### 座学

11月23日(祝日)

参加者

金目川水系流域

ネットワーク15名

横浜/国大教授

東海大学生

日立職員

秦野市

地元ボランティア

総勢44名

天候 あいにくの冷たい雨。

急遽、繰り上げて座学の時間に。

(東海大学生によるトンボの生態ほか)

すると、午前11時前に突如として日差しが。

喜んでフィールドでの観察へ。

雨を受けて紅葉は一段と深みを増して、

私たちは、水源を目指した。

中腹、杉の大木の下に祠があり、

そこから静かに湧水していました。

水源は江戸の昔、宝永の富士山大噴火

砂のたまり場所のところで、

あれから300年を過ぎて杉は大木となった。

自然界の歴史を感じました。

### 雨のため急遽、木工場内での座学を前の私たち→



フィールドには網をいれるたびに  
オニヤンマのヤゴ群(ヤゴは水中で2から  
3年過ごす)。いるいるカワニナ(蛍の工サ)  
だ。今度はホトケドジョウ(絶滅危惧ⅠB  
種(EN))だ。雑食で魚類、甲殻類、藻類  
等の食生です。次はサワガニがとれました。  
ボランティアの人たちの努力で  
手がはいたおかげで高まった自然度を  
心ゆくまで目に焼きつけました。

柳川三郎 記

### 紅葉を前にフィールド全景、落葉は生き物にとって大事です。



倒木の中をくぐりぬけての室川水源地  
生き物にびっくりしている。



ごちよさそうな、サワガニくん→



十分に観察できた、ホトケドジョウです。

## 平成24年(1月~12月)学校へ“芽吹いた・出前教室の記録”

### 1 平塚市立山下小学校 実施日は2月29日 生徒は6年生3クラス91名

佐藤貴子 「遊び」川の自然を通して感性を高めて、「なぜ」を探しながら遊びを！  
 府川清 「金目川 自作詩～白い花(ごみ)～」ほか朗読  
 柳川三郎 「金目川について、清流の魚—アユの一生—増えていくためにはどうするか」

\*効果は 大雪の朝 理科の時間を使ってくださった。  
 学校側の高い協力姿勢に、私たちは胸高鳴る。



### 2 秦野市立南が丘中学校 実施日は5月1日 全生徒300人

柳川三郎 講演 演題「キラキラ光る川の流れを」  
 コンセプト①金目川水系流域ネットワークの活動について ②金目川の水はどこから来るか  
 ③森と川とのつながりで、森がどんなに効果があるか ④川の生き物について特にアユとボウズハゼの特性は  
 ⑤川を良く知ろう・川はどんな恵みを与えてくれるか。

\*効果は アユの命がたった1年と短い、きれいな川で過ごしてほしいとの思いを抱いてくれた。  
 又、私たちの生活で汚いものを川に流しては悪い影響を与えることを知っていただいた。



### 3 平塚市立春日野中学校 実施日は6月1日 生徒は1年生116名

柳川三郎 「森林と川とのつながり、森林と山の土壌で浸透した水は尊いカルシウム・  
 マグネシウム等の物質を増やして自然の良い循環の役割をしている」  
 府川清 「金目川(花水川)の自作詩～シジミとり～」ほか朗読  
 松本晃一 「金目川周辺の環境・水生生物・水質について」

\*効果は 講師3人の必死ながんばりが生徒たちを動かして自分のこととして受け止めてくれたことは感激だ。  
 帰りに先生がたが校門まで見送ってくださって感謝です。



### 4 平塚市立富士見小学校 実施日は12月7日 生徒は4年生131名

柳川三郎 「金目川の歴史と未来、水を大切に作る習慣」ほか  
 府川清 「金目川 自作詩・アカガエル・達上池・」ほか朗読  
 岩本勲 「金目川 生き物観察会を細かく説明」

\*効果は 江戸の宝永時代の大災害時(地震と富士山噴火)の復興に老いも若きも、  
 女性も男も共同して多勢で復興に頑張ったことを教えられたこと。  
 食用アカガエルを教えられたこと。  
 後で生徒がWE CAN DOをしてくれたこと。



## 「湘南里川づくりフォーラム2013」を開催しました！

去る平成25年1月27日(日)、東海大学湘南キャンパス13号館において「湘南里川づくりフォーラム2013」を開催しました。

今回のフォーラムでは、東海大学藤野教授が「金目川水系流域の今後」をテーマに、流域団体や世代間の連携の必要性を説く基調講演を実施後、「水質調査・美化活動」、「環境教育」、「生物多様性」の各テーマに分かれてプレゼンテーションや意見交換を行う「分科会」を行いました。

湘南里川見守り隊のみなさんをはじめ、県内各地域からお集まりいただいた参加者によって貴重な意見が交わされ一人ひとりが課題を実感し自らの問題として捉え、環境に配慮した生活や責任ある行動をとること、そして、流域の環境保全活動を支えるネットワークの必要性を改めて再認識させられた1日となりました。



お申し込み・お問い合わせ先  
 湘南里川づくりみんなの会事務局

神奈川県湘南地域  
 県政総合センター 企画調整課  
 電話 (0463) 22-9186  
 (ダイヤル)  
 ホームページアドレス  
<http://www.satokawa.com/>